



コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

No.42 2017年2月号

倉敷医療生活協同組合

コープリハビリテーション病院

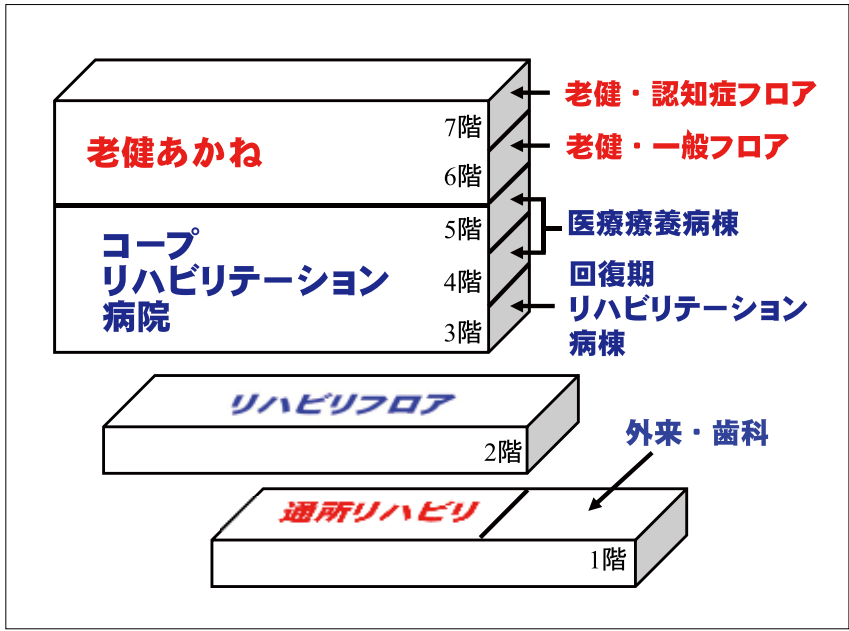
〒712-8057 倉敷市水島東千鳥町1-60

TEL 086-444-3212

老人保健施設 老健あかね

TEL 086-446-6541

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。



建ものの全容

住まいのリハビリ
住まいに
戻ったばかりの不安は
訪問リハビリが軽減します。その後も生活能力が衰え病気の再発で介護度が重

新しい建ものは全館リハビリに特化しています。例えば急性期病院を退院する患者さんは回復期リハビリ病棟で専門的リハビリを受けるのですが、新病棟では個室を増やすなどプライバシーに配慮し、ユニットバスなどで生活の疑似体験をすること
で回復が促進します。

相談室・連携室
相談室が建物の1階にあります。外来や入院のご希望から暮らし向きの相談までまろくと引き受けます。ケアマネー

慢性期入院
外来や往診で暮らしを続けるのが難しい病気は、これまでどおり療養型病棟が対応します。どの部屋も通風・採光の配慮と断熱窓で寒々しさを排除した環境で医療管理ができます。

老健リハビリ
住まいにいて介護度が重くなった患者さんは老健あかねに入所してもらい集中的リハビリを約3ヶ月行い生活能力を回復します。認知症はフロアを独立させ専門的ケアで症状の改善をはかります。ショートステイも今まで通り可能です。

くくなる危険は通所リハビリが予防します。外来にリハビリだけ通うこともできます。いずれも医師がリハビリ処方し福祉用具の助言をします。外来は歯科も含め一般患者さんも利用できます。外来に通えない患者さんは建物の向かいの水島南診療所が往診します。

ジャーさんも気軽に立ち寄れる場所です。
こうして地域の皆様の健康や暮らし向きの不安をリハビリ医療を軸とするチームワークで一緒に乗り越えるのが私達の使命です。



祝・2月1日開院



入院や入所に際して、部屋代はいただいていません。

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。

私は30年近く水島協同病院で勤務しており、そのときは小児科病棟・外来の勤務を長くしていました。子どもを想う家族の気持ちはここでの患者様の御家族の気持ちと通じるところがあります。コープリハビリテーション病院の中には療養病棟があり医療的な治療・処置が必要な患者様がおられ、今までの経験や学びが活かされる時です。また疾患によって奥が深く、病気の理解や関わりが重要になってきます。リハビリの単位は少ないですがリハビリ・看護・介護が力を発揮しています。



新病院から見た水島港

新病院建設に、私は途中からの関わりですがこの間で新病院建設はどんどん進みます。私が勤務する5階療養病棟のカラーは水島港の深青色です。建設途中に



庄司真樹子

安心の療養を地元で提供

シリーズ「専門職の誇り」

縁あって、民謡の宝庫、秋田県の男性の先生から、秋田民謡を教わる機会にめぐりあえました。そして10数年後、その先生の突然の訃報。言葉がありませんで

ボランティア紹介

民謡グループ「小梅」

福江 博志



小唄、三味線、尺八と3拍子揃い踏みです

した。思い返せば、厳しい先生の前で、思うように三味線が弾けなかったこと、何くそ！と頑張ったことが思い出されます。今は、ありがたうございました。ありがとうございました。そして、この春から若い女の先生のもと、もう一度ガンパロー！という気持ちで練習に取り組んでいます。まだまだ未熟者の会。メンバーのグループ名は「小梅」で誕生したばかりですが、今まで取り組んできた秋田



コープリハでも初のボランティアデビュー!!
(筆者中央)

の民謡を中心に、東北地方の手踊り、童謡などを取り入れ、皆さんに楽しんでいただけるステージをめざします。

診療表					
コープリハビリテーション病院 [086-444-3212]			老健あかね [086-446-6541]		
診療時間	内科	歯科	短時間 通所 リハビリ	訪問 リハビリ	通所 リハビリ
	午前 9:00~ 12:30	午後	9:00~ 16:50		9:00~ 16:00
月			○	○	○
火	○	○	○	○	○
水	○		○	○	○
木	○	○	○	○	○
金	○		○	○	○
土					○

窓から水島港を見ることがあり、生まれ育った町なのに始めてみる景色でした。こんな高い所から水島の町を見おろすことなどありませんでした。幼い頃聞いた「水島灘のあけぼの」と小学校の校歌が浮かび景色

と一致した時でした。私の地元でもある水島地域から患者・利用者の方々が健やかに暮らせるような役割を担っていきたいと思います。コープリハビリテーション病院 3病棟 看護師長 庄司真樹子



○お問い合わせ先
倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
老人保健施設 老健あかね
TEL 086-444-3212 (代表)
受付時間 8:30 ~ 17:00
(土日祝・年末年始を除く)
〒712-8057
倉敷市水島東千鳥町 1-60
ホームページ
http://coopreha.jp/
メールアドレス
info@coopreha.jp
広報委員会
発行責任者 笹舘 勝人

「触れる」という行為

「優しさ」「喜び」「慈愛」「信頼」が込められた触れ方が大切です。具体的には「広く」「柔らかく」「ゆっくり」「なでるように」「包み込むように」です。「強く」「急激に」「小さい面積で」「掴む」という触れ方をしてはいないでしょうか。

「触れる」ということを脳の側面から考えてみますと、手や顔、口唇へ触れた場合、同じ面積で体幹や上下肢に触れた場合に比べると、より多くの情報が脳に届いています。急に顔に触れるのではなく、上腕や背中などから触れることで、ケアを受ける人を驚かすことを防ぐ事ができます。また、日頃のケアでは親指を手のひらにつけて、5歳の子以上の力は使わないと肝に銘じて、相手をつかまさない、強い力をかけないケアが大切です。

「立つ」という行為

「立つ」ことによって空間認知が育まれ、内なる世界

「触れる」という行為

と外の世界があることを知覚できます。歩くことで移動能力を獲得し、社会を知り、一人の人間であることを認識します。

寝たきりになれば、いつも見下ろされ、そのままおっておかれれば認知機能は低下します。触れられることも自然に少なくなっていく、ますます認知機能は低下します。これは人間として存在することを奪うことでもあります。

「立つ」ことは生理的メリットもあります。骨に荷重をかけることで骨粗鬆症を防ぐ、立位のための筋肉を使うことで、筋力の低下を防ぐ、血液の循環状態を改善する、肺活量を増やす事ができる等です。

ボランティア総会

2017年
3月22日(水)
時間:14:00~15:30
場所:コープリハビリテーション病院
2階会議室

特集 看護 ②

ユマニチュードについて④

認知症看護認定看護師 田上 理枝
(コープリハビリテーション病院1病棟)